

2019年8月22日

NEWS RELEASE

株式会社 山と溪谷社
南海電気鉄道株式会社
橋本・伊都広域観光協議会

【山と溪谷社×南海電鉄×橋本・伊都広域観光協議会】

山のスタンプラリーアプリ「ヤマスタ」に 世界遺産 高野参詣道を巡る2コースが追加！

くろこみち きょうおおさかみち
「高野山黒河道スタンプラリー」「高野山京大坂道スタンプラリー」



インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（代表取締役社長：川崎深雪）は、南海電気鉄道株式会社（社長：遠北光彦、以下「南海電鉄」）、橋本・伊都広域観光協議会（事務局：和歌山県伊都振興局）との共同企画として、山のスタンプラリーアプリ「ヤマスタ」に、「高野山黒河道」、「高野山京大坂道」の2コースを追加します。昨年から実施している「高野山町石道スタンプラリー」とあわせて世界遺産 高野参詣道のスタンプラリーを3コースお楽しみいただけます。

■ 実施期間 2019年9月9日(月)～2020年9月8日(火)

■ ヤマスタとは

- 対象の山に登り、指定された場所でスマートフォンのGPS機能を利用しチェックインすることで、デジタルスタンプを集めるスタンプラリーアプリ。
- スタンプラリー1回達成する度に、認定証とオリジナル記念缶バッジをプレゼント。

【引替場所】はしもと広域観光案内所、登山の専門用品店「好日山荘」
好日山荘（グランフロント大阪店、なんば店、近鉄あべのハルカス店、
岸和田カンカンベイサイドモール店、紀三井寺店）

※詳細は、ヤマスタホームページをご参照ください。

URL：<https://yamasta.yamakei.co.jp/>

コース詳細：http://yamasta.yamakei.co.jp/events_koyasan2019.html



認定証



オリジナル記念缶バッジ
(写真はイメージです)

この資料に関するお問い合わせは
株式会社山と溪谷社 ヤマスタ事務局
南海電鉄・広報部
和歌山県 伊都振興局 企画産業課

TEL：03-6744-1907
TEL：06-6644-7125
TEL：0736-33-4909

参 考 高野参詣道スタンプラリーコースの概要

■「高野山黒河道」コース

柿畑や自然林、溪流など高野山麓の自然の変化に富んだ景観を楽しめるコースです。

黒河道は、高野参詣道としてだけでなく、地元集落の生活道としても古くから歩かれてきた道です。かつて、高野山内で禁止されていた能狂言を催した豊臣秀吉が、急な雷雨に見舞われ、「弘法大師の怒りだ」と、この道を馬で駆け下りたという逸話があります。

【チェックイン場所】6ヶ所

定福寺、鉢伏の井戸、春日神社、くどやま森の童話館(旧久保小学校)、粉撞峠、一本杉

■「高野山京大坂道」コース

高野山の歴史・文化にまつわる名所が楽しめるコースです。

石童丸物語や人魚のミイラで知られる西光寺菰萱堂、日本最後の仇討ち場、赤い塗装が目目を引く極楽橋など、名所を巡りながら高野山を目指します。極楽橋からいろは坂を登ると、かつて高野山が女人禁制だった頃、女性が立ち入れる場所だった女人堂に到着します。

【チェックイン場所】7ヶ所

西光寺菰萱堂、日輪寺・河根丹生神社、第五の地蔵（厄除地蔵尊）、神谷宿（旧白藤小学校）、極楽橋、清不動堂、不動坂女人堂

■「高野山町石道」コース

高野山への道標（道しるべ）として、1町（約109メートル）ごとに建てられている180基の町石に手を合わせながら楽しめるコースです。

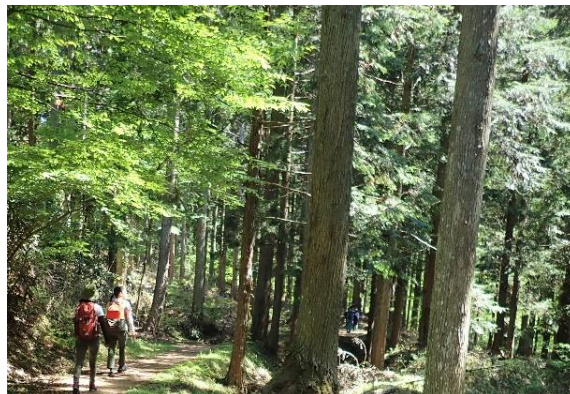
弘法大師空海も歩いた高野山への表参道で、皇族、貴族、武士、庶民とあらゆる層の人がこの道を歩きました。

【チェックイン場所】10ヶ所

慈尊院、展望台（百六十五町石近く）、六本杉、二ツ鳥居、神田地蔵堂、笠木峠、六地蔵、展望台（四十町石近く）、鏡石、根本大塔

＊2018年6月29日から実施中（1,080人参加／2019年8月時点）。

好評のため2020年9月8日(火)まで延長します。



豊かな高野山の自然を楽しめる高野参詣道（黒河道）

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(代表取締役：唐島夏生)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。